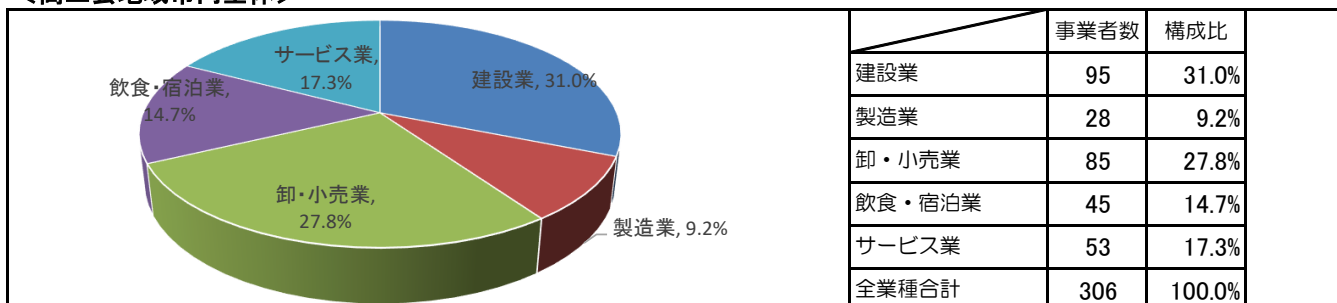


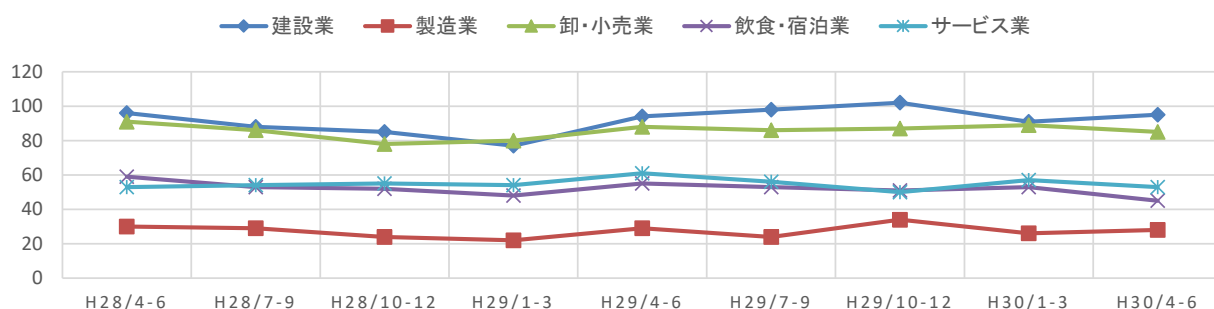
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



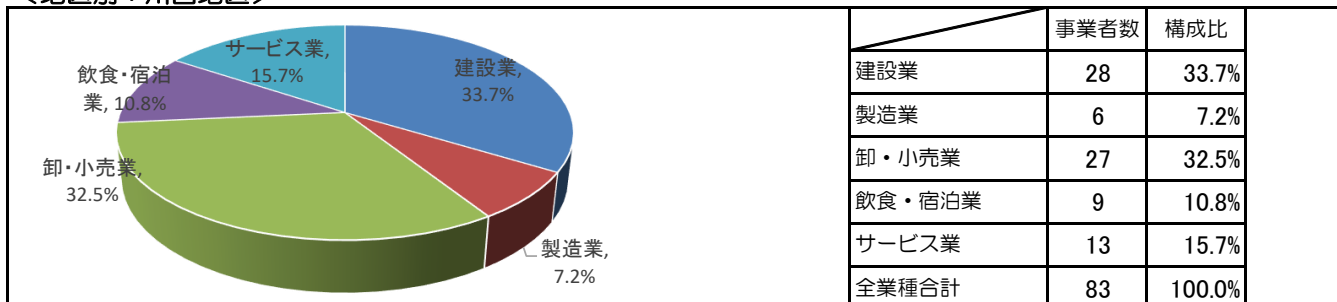
業種別調査事業所数の推移（市内全体）



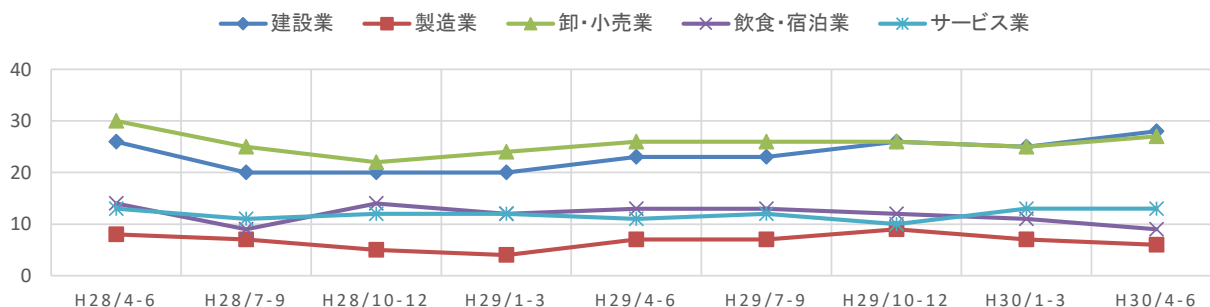
<コメント>

十日町市内の商工会地域全体の商工業者（約1,000社）の約3割の事業者から回答をいただいている。調査開始からの推移でも特段大きな変動はなく、製造業の割合が低いものの業種別に大きな偏りは無い。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移（地区）



<コメント>

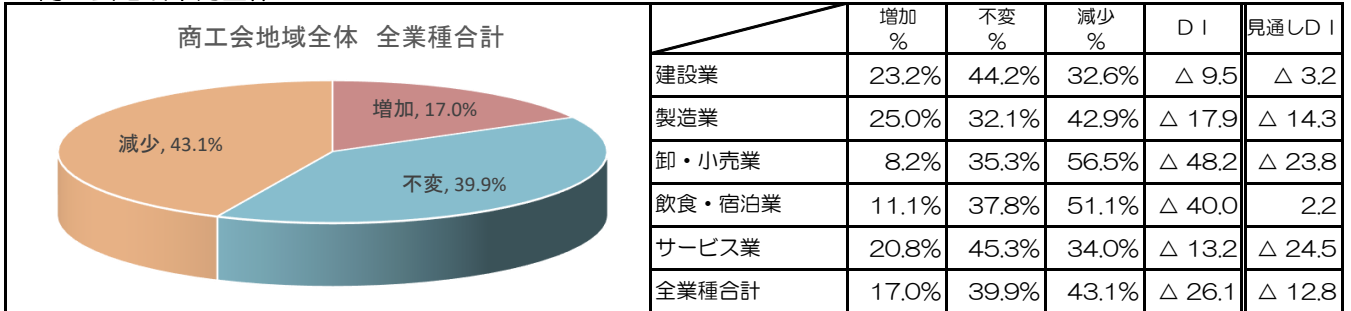
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、83社(回収率83%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

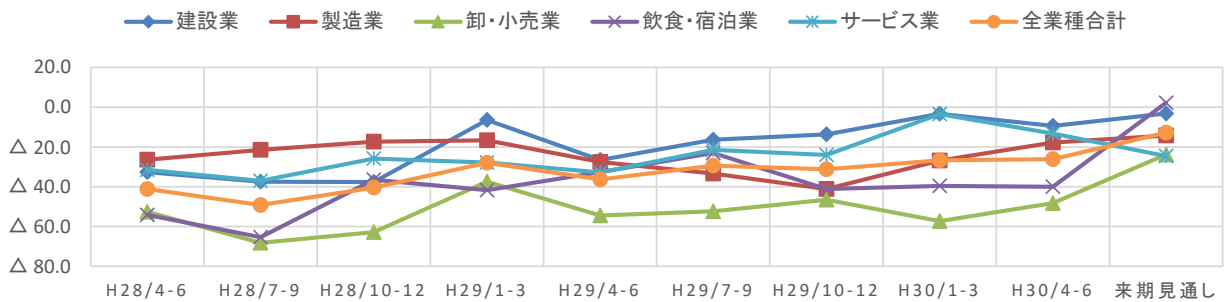
1. 売上について

・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



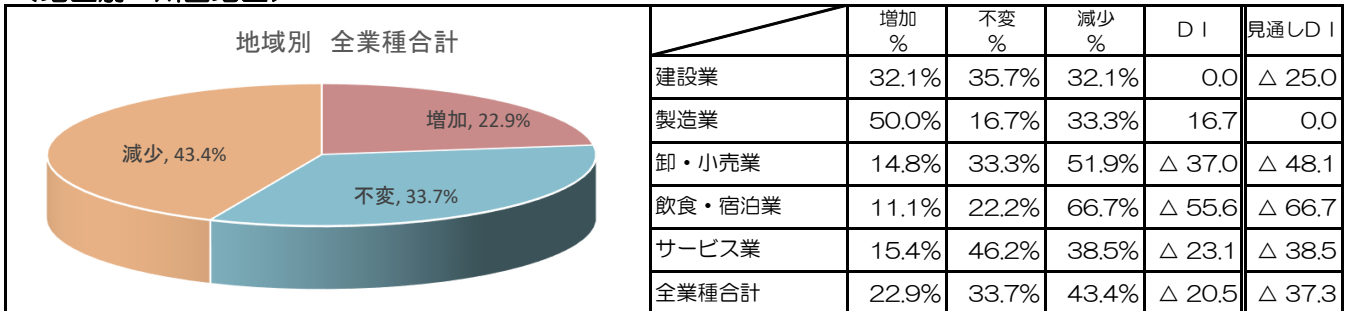
業種別売上の推移(市内全体)



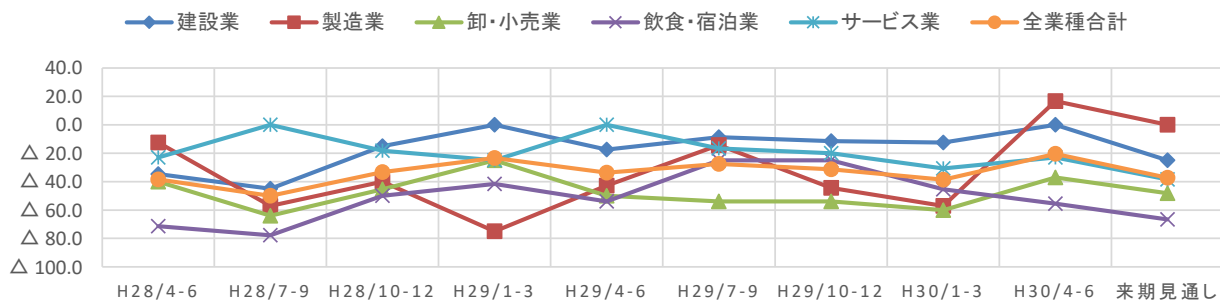
<コメント>

市内全体の売上状況であるが、全業種でのD I値で見ると、前期（△26.7ポイント）に比べ0.6ポイント改善した結果となっている。業種別の前期比は、建設業、サービス業で減少したが、卸・小売業、製造業が増加となった。来期の見通しは、サービス業が減少予測しているものの、その他の業種では増加予測されており、飲食・宿泊業はプラス域まで増加予測している。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移(地区別)



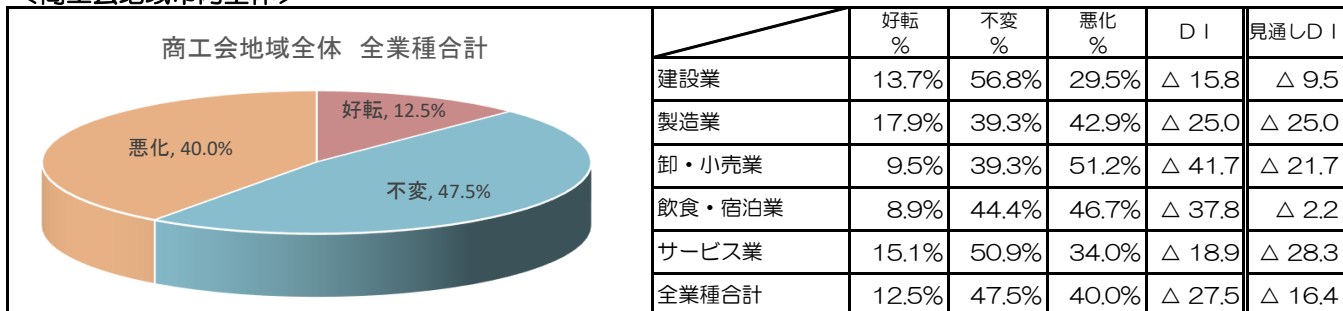
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△20.5ポイントの減少となっている。製造業は16.7ポイントの向上を示しているが、一方で飲食・宿泊業の減少が目立っている。来期見通しでは全業種で△16.8ポイントの悪化を予想している。

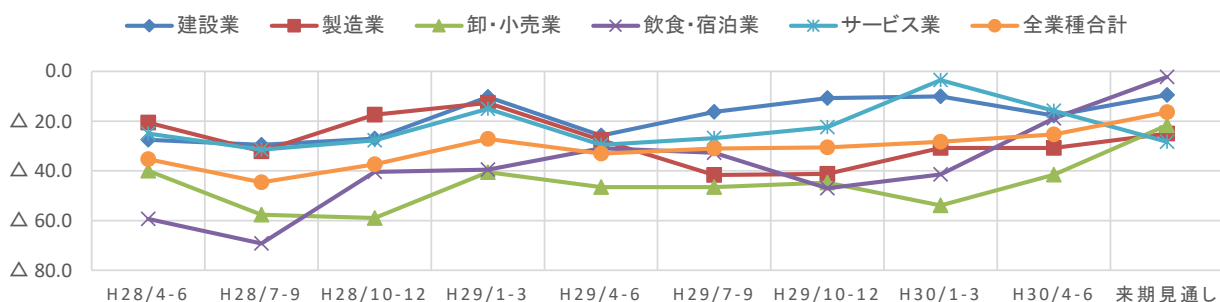
## 2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



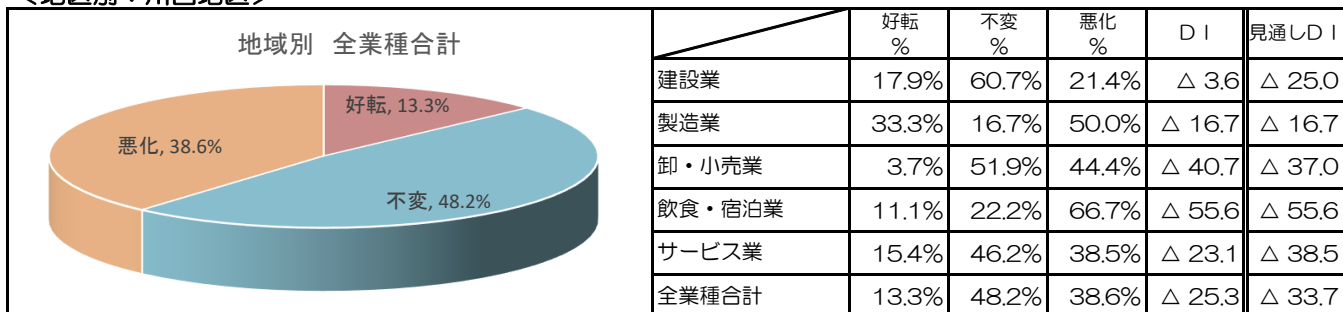
### 業種別採算の推移(市内全体)



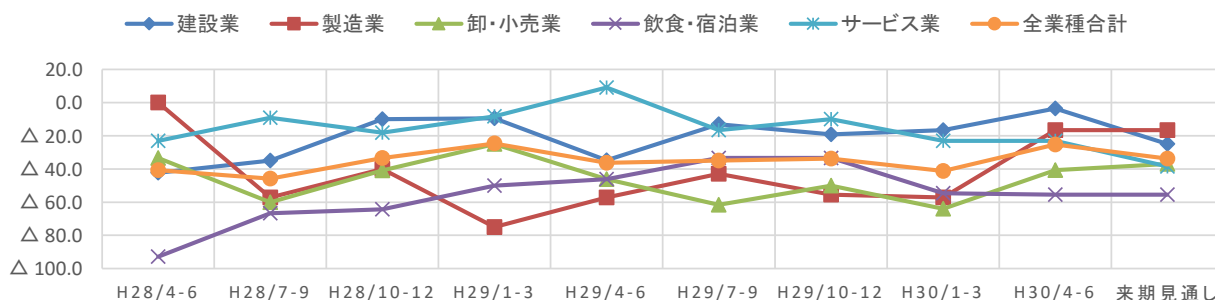
#### <コメント>

市内全体の採算は、全業種のD I値で前期(△28.3ポイント)に比べ0.8ポイント改善となった。売上状況と同様、建設業、サービス業で悪化となっているが、その他の業種は好転している。来期の見通しにおいてもサービス業以外の業種が大幅な改善予測されており、全業種で今期よりも11.1ポイント好転予測されている。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



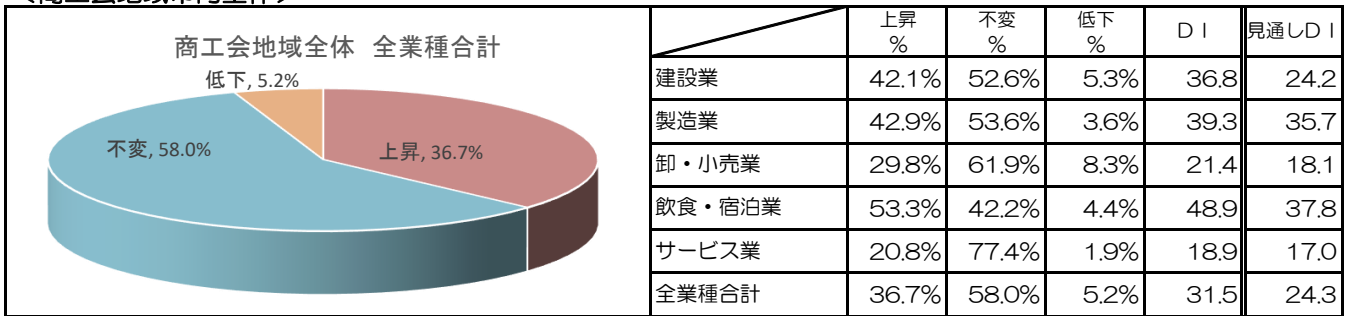
#### <コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△25.3ポイントの悪化となっている。特に飲食・宿泊業の悪化が顕著である。来期見通しでは全業種で△8.4ポイントの悪化を予想している。

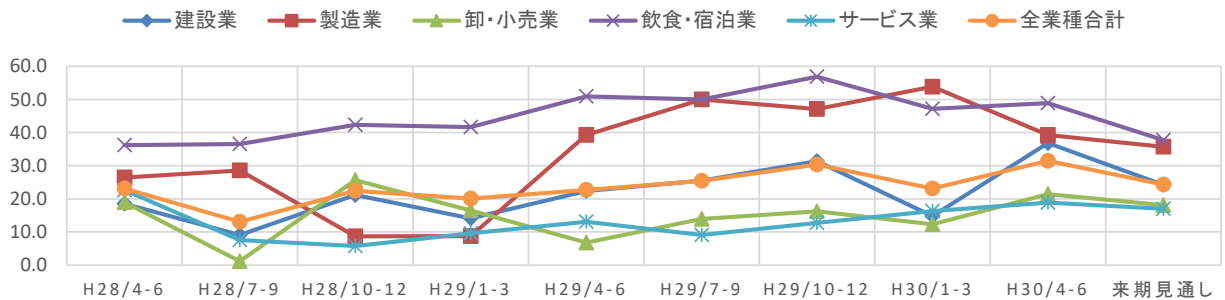
### 3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



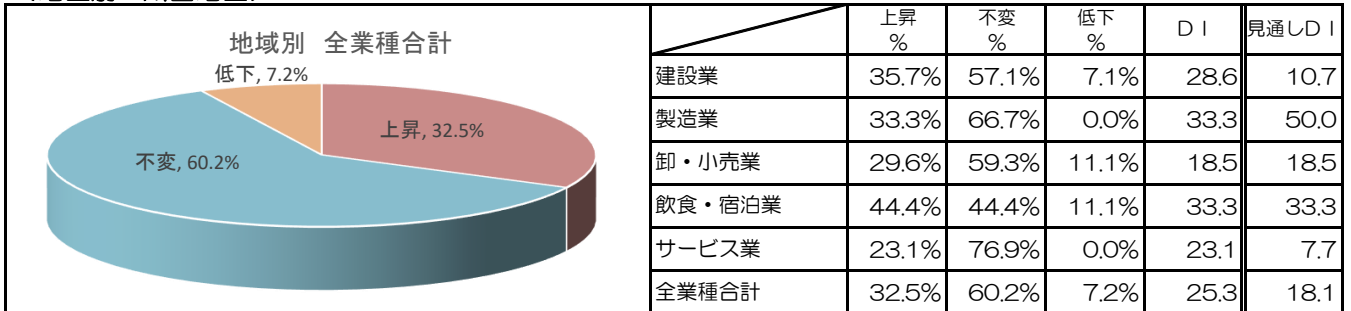
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



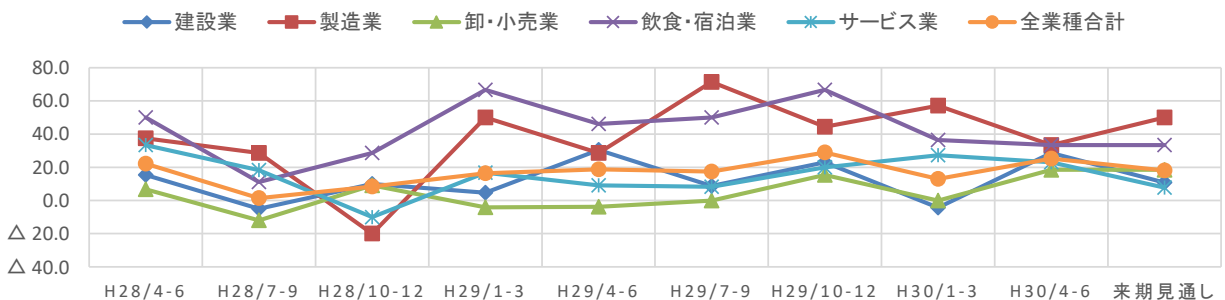
#### <コメント>

市内全体の仕入単価であるが、製造業以外の業種で上昇を示しており、前期比で8.3ポイント上昇となった。特に建設業では、前期よりも29.1ポイント上昇となっており、燃料価格の高騰が大きく影響しているものと推測できる。来期の見通しにおいては全ての業種で低下予測されており、今後は落ち着くものと予想される。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



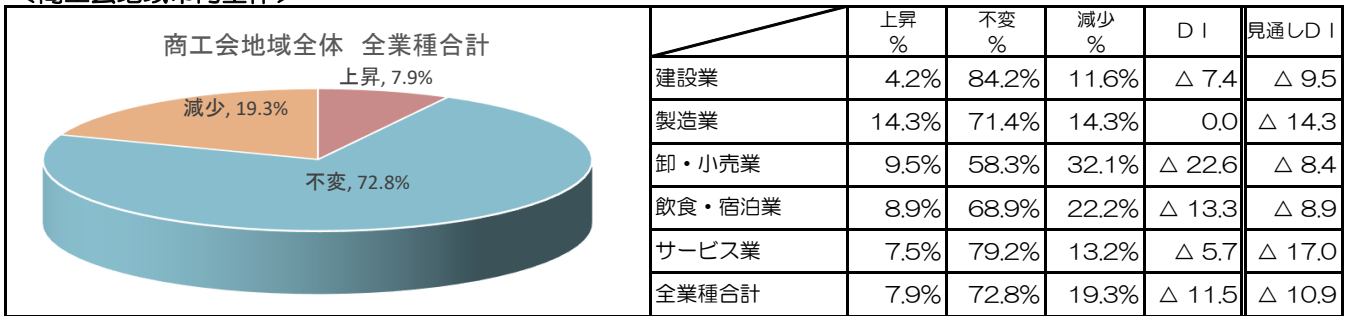
#### <コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して25.3ポイントの上昇を示している。その中で製造業や飲食・宿泊業が他業種よりも上昇傾向となっている。来期見通しは全業種で7.2ポイントの改善が見込まれている。

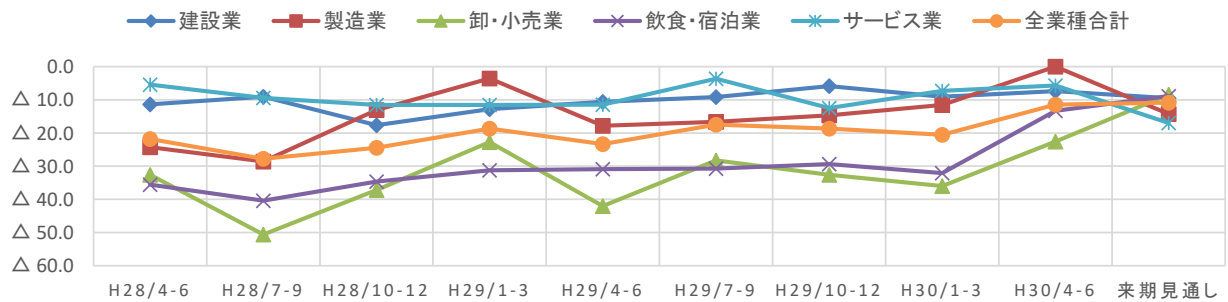
#### 4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



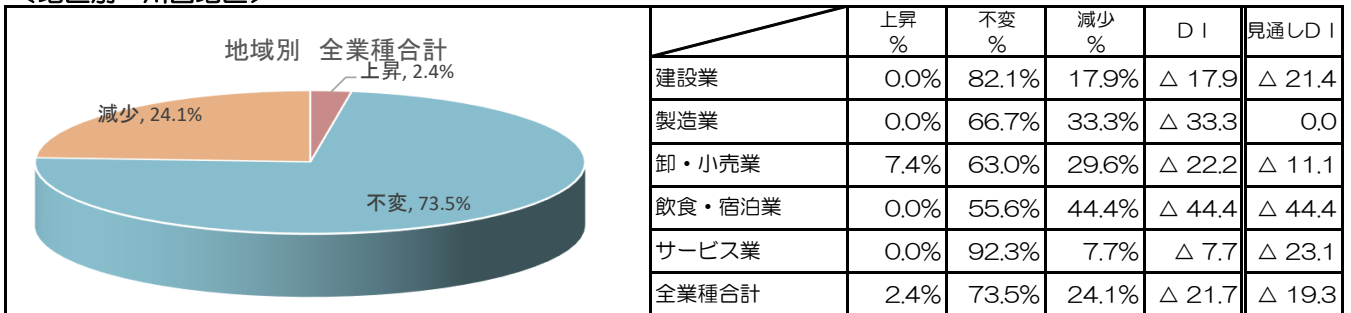
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



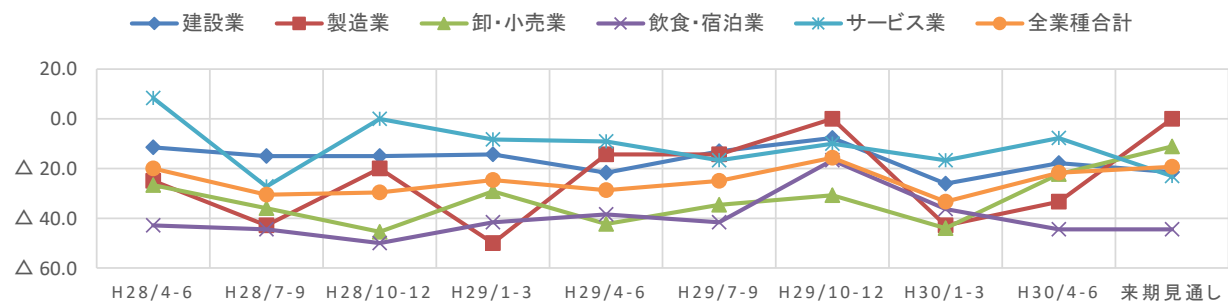
##### <コメント>

市内全体の販売単価は、推移グラフで分かる通り、全業種でのD I値で前期に比べ9.1ポイント上昇となった。前年同時期（△23.3ポイント）との比較でも11.8ポイントの改善となっている。来期の見通しで製造業が減少を示しているが、全業種では0.6ポイントの改善予測となっている。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



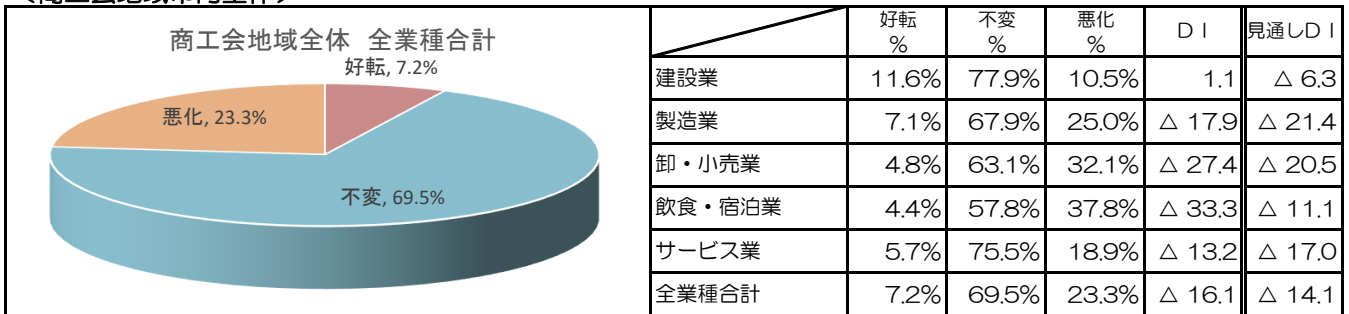
##### <コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△21.7ポイントの低下となっており、飲食・宿泊業の悪化が△44.4ポイントと顕著である。来期見通しでは全業種で2.4ポイントの回復を示している。

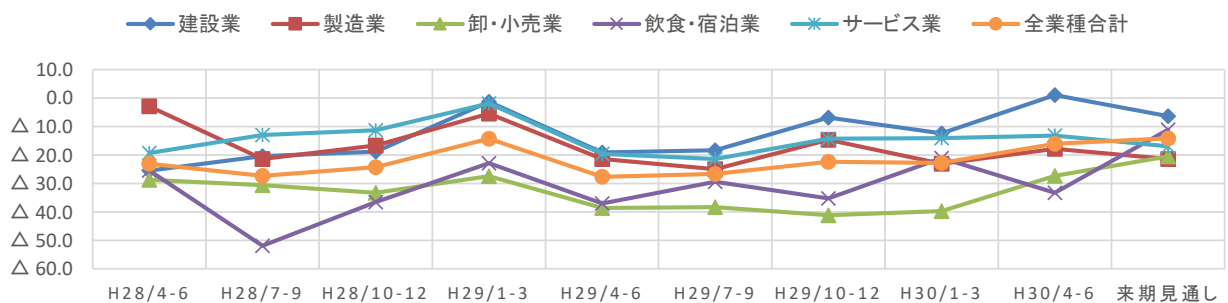
## 5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



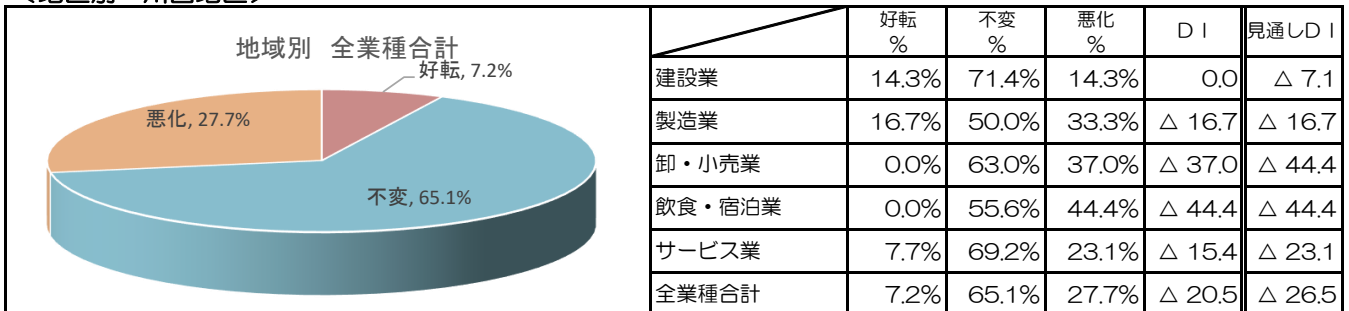
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



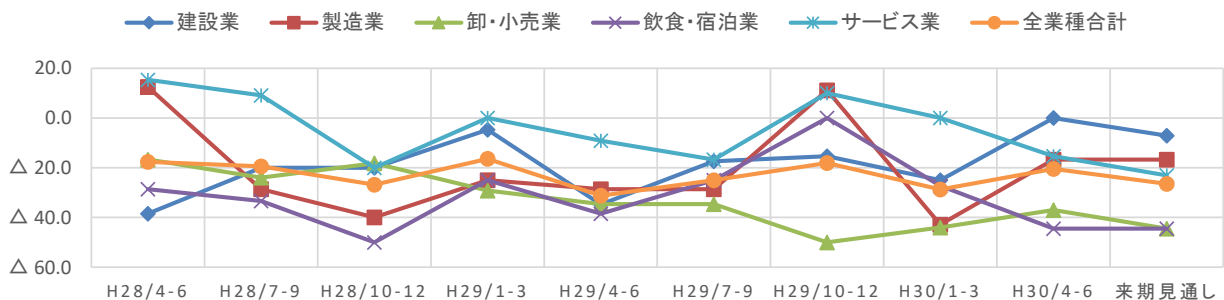
### <コメント>

市内全体の資金繰り状況は、全業種D Iで前期比6.7ポイントの改善が見られた。業種別では多少の波があるものの、推移グラフから見ても昨年の第1四半期から少しずつ上昇傾向にあることが読み取れる。来期見通しにおいても2ポイント改善予測されており、この傾向が続くことを望みたい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



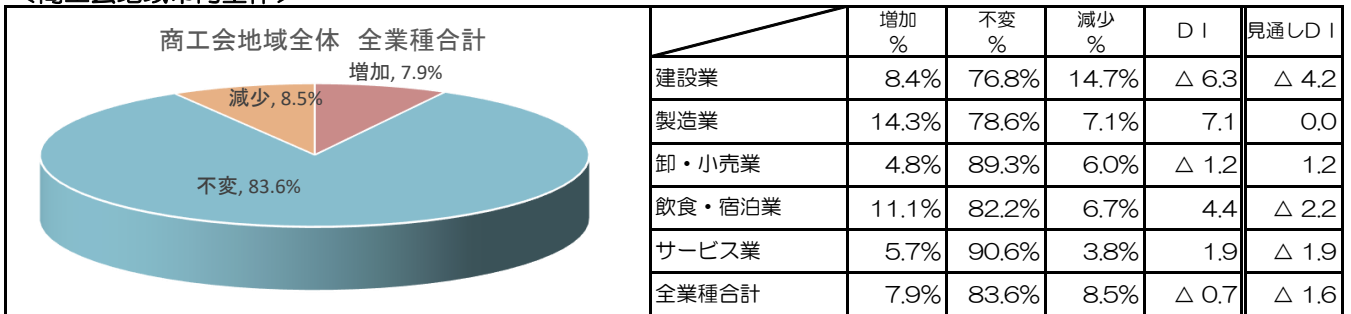
### <コメント>

川西地域の資金繰りは全業種で△20.5ポイントの悪化であるが、建設業においてのみ不変を示している。来期見通しは全業種で△6.0ポイントの悪化が予想されている。

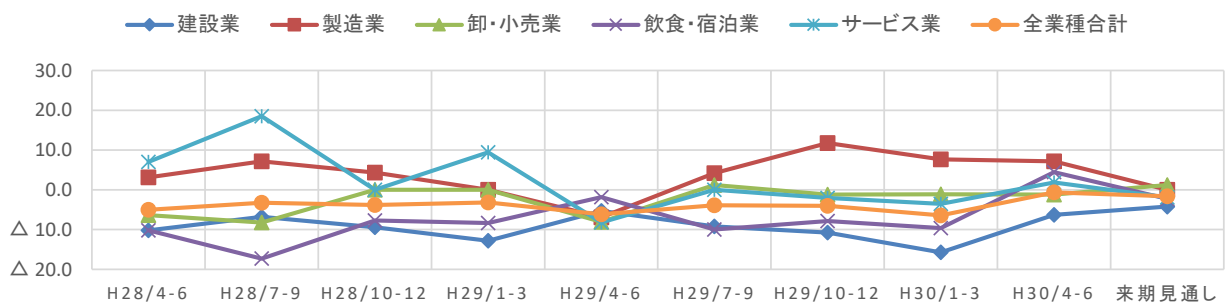
## 6. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



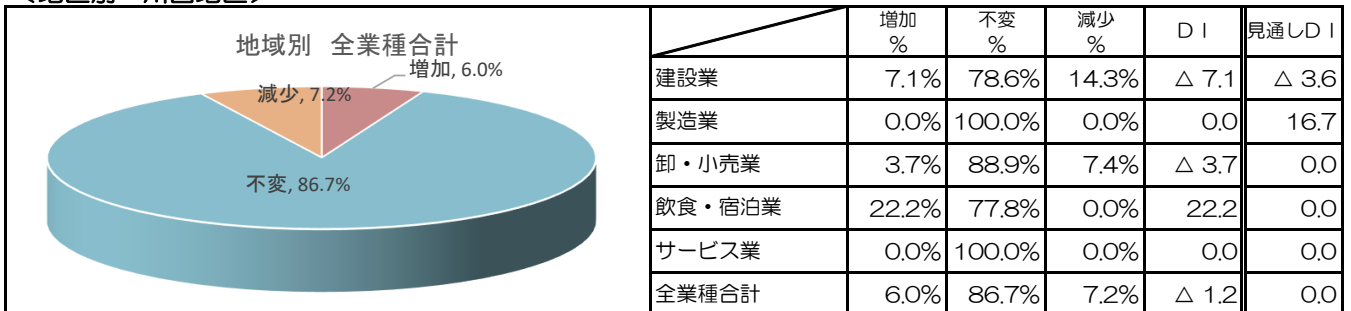
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



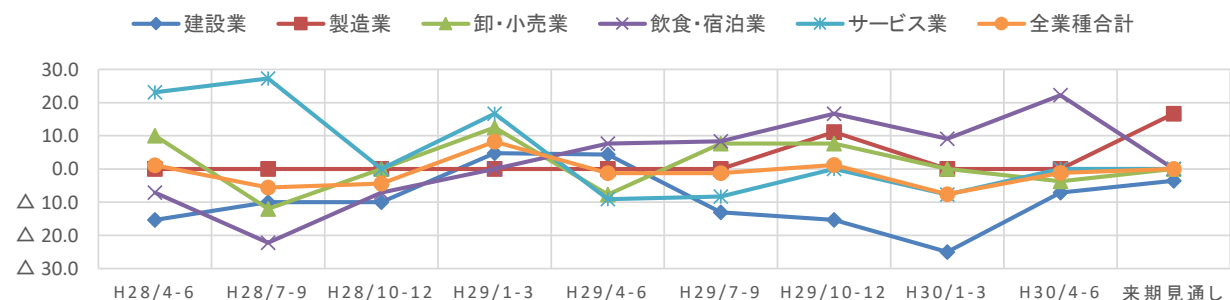
#### <コメント>

市内全体の従業員数は、全業種合計のD I値で、前期(△6.4ポイント)に対し5.7ポイント増加となった。建設業と飲食・宿泊業での伸び率が高く、建設業は9.4ポイント、飲食・宿泊業は14ポイント増加となっている。来期の見通しで多少の減少予測がなされているが、大きな変動は無いものと思われる。

### <地区別：川西地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



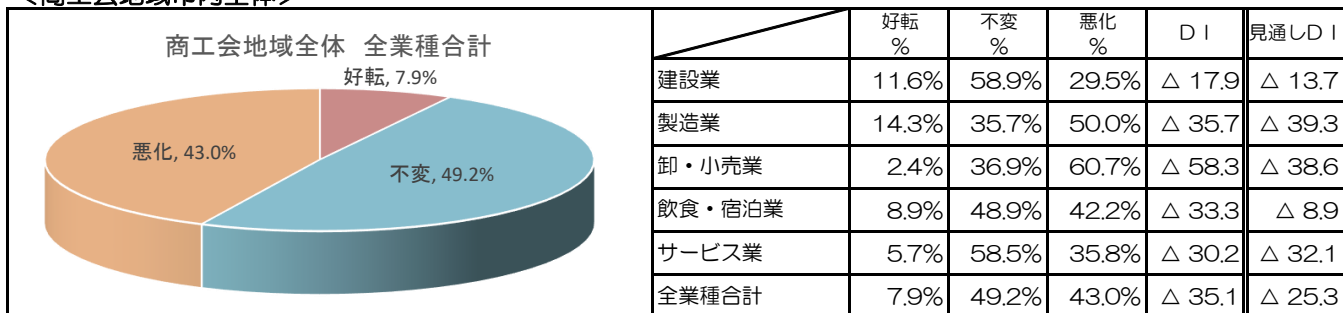
#### <コメント>

川西地域の従業員数は△1.2ポイントの減少であり、前回同様、建設業における従業員数の減少が目立っている。飲食・宿泊業では22.2ポイントの改善を示している。来期見通しは全体的に1.2ポイントの改善を予想している。

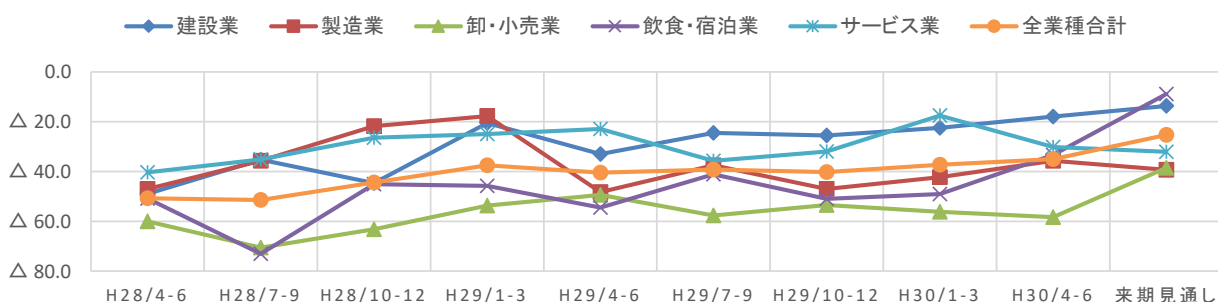
## 7. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



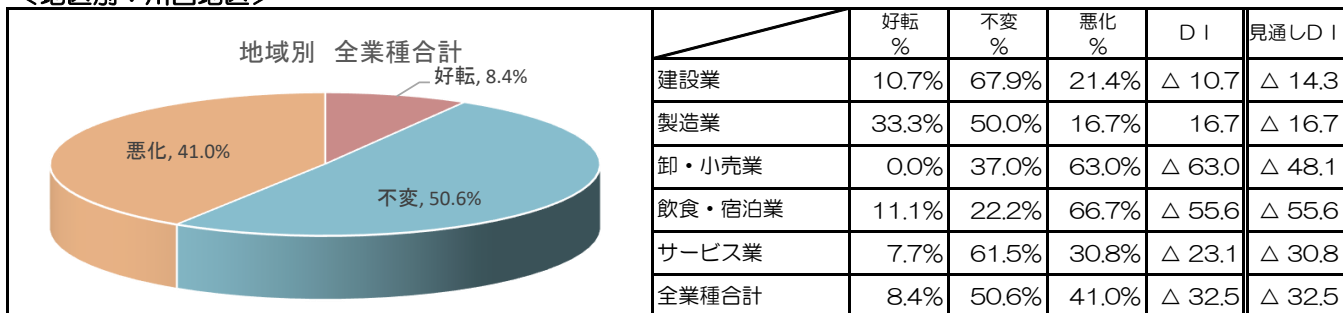
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



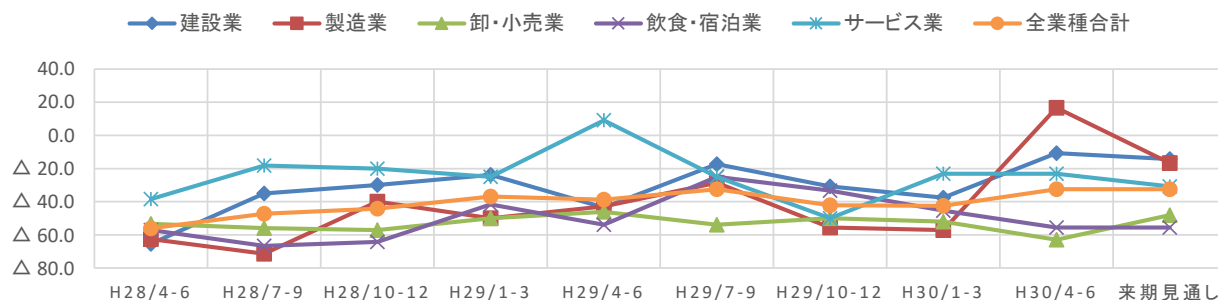
#### <コメント>

市内全体の景況判断は、全業種合計のD I値より、前期(37.3ポイント)に対し2.2ポイント好転となった。卸・小売業及びサービス業で悪化となっているが、建設業と飲食・宿泊業の伸び率により全体を押し上げた形である。来期見通しでも好転予測されており、今後の動向に注目したい。推移グラフからも全業種の景況判断は微増傾向にあることから、この傾向が維持されることに期待したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)

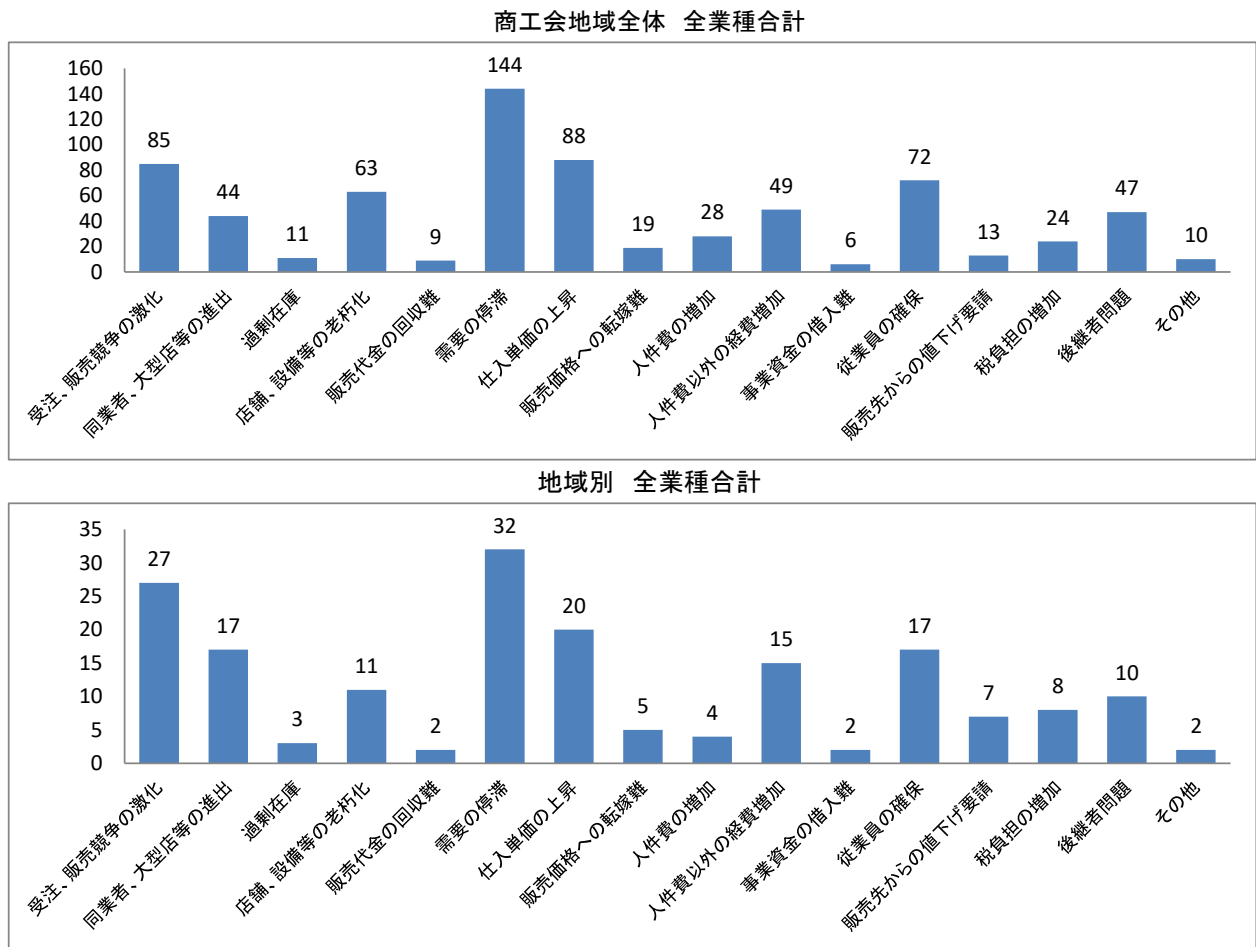


#### <コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△32.5ポイントの悪化を示しており、特に製造業では改善傾向にあるもののその他の業種では悪化を示している。全業種から見た来期見通しとしては今期と同様であると見込まれている。



## 8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月



### <コメント>

市内全体の経営上の問題点は、前回調査時と上位3位までの内容は変わらず、1位「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「受注・販売競争の激化」となっている。次いで「従業員の確保」が問題に挙げられており、人材不足が進んでいるものと推測される。

## 9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

### 【建設業】

建設業においては「仕入単価」が悪化しているとの回答が多いが、「売上」や「資金繰り」については前年同期と不変といった回答が多かった。また、経営上の問題点としては1位「受注販売競争の激化」2位「需要の停滞」3位「従業員の確保」となっており、需要停滞の中で競合他社を意識している事業所が増加している傾向にある。

### 【製造業】

製造業においては「仕入単価」「販売単価」において悪化との回答が多いが、「売上」や「景況判断」に関しては改善を示している。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「人件費以外の経費増加」3位「仕入単価の上昇」が挙げられている。従来までの「需要の停滞」及び「仕入単価の上昇」といった課題に加え、「人件費以外の経費増加」に悩む事業者が増加しており、こうした外部要因への対策が求められている。

### 【卸・小売業】

卸・小売業においては「売上」「採算」「資金繰り」の悪化が顕著であり、特に「景況判断」では全業種内で大きな悪化を示している。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「同業者、大型店等の進出」であり、今期は建設業と同様に需要停滞の中で競合他社の動向に注目をしている事業所が増加傾向にあることが伺える。

### 【飲食・宿泊業】

飲食・宿泊業においては全体的に悪化傾向にある中、「従業員数」においては全業種の中で唯一改善を示している。経営上の課題については1位「店舗、設備の老朽化」2位「仕入単価の上昇」「人件費以外の経費増加」「従業員の確保」「後継者問題」となっており、前年同期と同様に従業員の確保に目を向けつつも自店舗の老朽化への対策を課題とする事業所が増えている。

### 【サービス業】

サービス業においても全体的に悪化との回答が多い中、「従業員数」に関しては不変の状態となっている。経営上の課題については1位「需要の停滞」2位「従業員の確保」3位「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」「店舗設備の老朽化」「仕入単価の上昇」となっており、需要の停滞への対策や従業員の確保を課題として捉える事業所が増加傾向にある。